

とよた森林学校

調査団体名	: とよた森林学校	団体代表者名	: 北岡明彦
設立年	: 2010(平成22)年	対応してくれた人の名前	: 北岡明彦
団体URL	: http://woodytoyota.net/gakkou/0_index.html		
活動拠点	: 愛知県豊田市森林課	調査員	: 沖 章枝、松井賢子、長澤壮平
取材日	: 2013年11月21日	レポート作成者	: 長澤壮平

活動内容

1. 人工林の間伐ができる人材の育成。
 2. 今までに森林や林業に関心がなかった森林所有者に森林や林業の基礎知識を解説する。
 3. 森林・林業の理解者などの「森の応援団」を増やす。
- 以上の目的のために年間14の講座を開いている。大きく分けて、「人材育成コース」と「森の応援団コース」の2コースがある。前者は本格的に人材を育成するコース、後者は市民が気軽に参加し、森林への理解を深めるコースになっている。特に「森の応援団コース」は人気が高く、抽選となる講座もある。

キャッチフレーズ

行政の英断

会のモットー(何を大切にしているか)

大事なものは、人づくり。もう一つは、一般市民への啓蒙普及。
豊田市の“森づくり”という基幹があって、これを支援するため、そして実現するためにはどうしたらいいかということコンセプトとしている。継続こそ力なり。

設立までの経緯

1996(平成8)年に山里足助森林協力隊が誕生したのに続き、元信州大学教授島崎洋路先生(とよた森林学校長)が講師を務めた講習会の受講生によって、森林ボランティアグループが市内各地に結成された。各グループは徐々に交流を深めていき、「みんなで森林から学び、森林を知り、森林のためにそれぞれの立場で努力しよう」と、2004(平成16)年1月に『矢作川水系ボランティア協議会(矢森協)』を結成した。現在も「森の健康診断」や「間伐モデル林事業」等々の企画、運営を行っている。都市と農山村の交流を進めるNPOも誕生した。こうした先駆的運動があって、豊田市に『とよた森林学校』が設立された。
(『矢作川流域 森林物語』発行豊田市 から抜粋)

連携している団体・専門家・自治体など

とよた森林学校OB会、とよた都市農山村交流ネットワーク
講座の抽選に外れた人の受け入れや講座修了者のレベルアップなど、広範な活動によって広報・啓もう活動をしていただいている。どう考えてどうお願いしたいか全てわかって協力いただいている。

山村再生や、その担い手づくりに関わる具体的な活動(例:小仕事づくり、山村・森林資源活用など)

先に掲げた、講座の実施が具体的な活動。これまでの成果はまだ見えない。例えば豊田市民は41万いる。8年やってきたこの講座の参加者は、1,000人とか2,000人の単位。豊田市民では1,000人いないだろう。少なすぎる。できれば最低1割(4万人)まで来てほしい。ただ、あまり門戸を広げすぎてイベント型にする気持ちはない。
豊田市には緊急に間伐しなくてはならない森林が20,000haある。森林組合は年間1,400ha間伐している。そういう中で、ボランティアがやる面積は5haだが、都市住民も森づくりに参加するという、それ自体に意味があると思う。

現在直面している課題

セミプロ養成講座は、今の林業の実情からして難しい面がある。講座を終えて実際に林業に携わる人は2割ほど。せっかく講座をやっても林業が厳しい状況なので、なかなか業として成り立たせるところまでいけないというのが大きな課題。

今後やってみたいこと

自分の持っている山をどういうふうにしたらよいか。それを森林所有者の立場で考えれば、「自分が気持ちのいい山だ」と思えること。自分が、あるいは家族、子ども、孫、ひ孫に、わしがつくった山はこういう山だと誇れるような山をつくってほしい。ひとつのパターンとして、針広混交林がある。ヘクタールあたり数十本は、とてもいい杉や檜が残っている。隣を見ると、シラカシのいい木がある。で、林床にはちょっと草花も咲く。そんな森はどうかと提案している。それが豊田市の森づくりだろうと思う。それは林業生産している多くの人の考え方とは違うかもしれない。けれど林業生産をしている人でも、必ずしも人工林一辺倒がいいとは思っていない。どうしたらいいのかわからずにいる人の方がはるかに多いと思う。いろいろな考え方を多くの人に話して、自分で選んでもらう。最後は自分で選ぶことが一番大事なことから。そういういろいろな話をする機会をつくるのが、行政としては大事なことはないかと思う。

チームオリジナルの質問

<質問内容> 良い森とはどんな森ですか？

<答え> 豊田市に限れば、豊かな動植物のいる森。生物の集合としての、まさに生態系としての森林。目指す豊田の森というのはそういう森ではないか。林業一辺倒ではなく、公益的機能も得られる森林。豊田市の場合、自家林業では生計は成り立たない。そこを基本にすると間違えてしまう。

<質問> 写真を見ると楽しそうですね。

<答え> 僕が楽しまない参加者は絶対楽しくないですから。まず僕が楽しむようにしている。だから楽しいと思うことしかやらない。それから、子どもたちが喜んでくれるのがやっぱり一番楽しい。本当に楽しい。

その他、伝えたいこと

1人でも多く市民の方に参加していただきたい。「自分はわかっている」という人ほど来ない。でも、そういう人にこそ来てほしいと思っている。

写真

